

東地区地域づくり協議会々報  
発行 平成26年3月1日  
発行責任者 佐藤成孝  
茗荷沢268番地1 (東開発センター)  
電話 025-779-3312

いて、毎週日曜日に山菜と地場産野菜の直売を行っています。

§

今、当八海山麓地域では、水無溪谷のダム工事に合わせた「越後三山森林公園」の再整備、下流域では、平成27年6月開院予定の「魚沼基幹病

院」の建設工事が順調に進んでいます。これらの事業に伴い市ご当局からも「南魚沼市メディカルタウン構想」が示されています。

弊社の今後の営業方針として、市ご当局の将来計画を踏まえ「水無溪谷エコミュージアムゾーン構想」を策定し「八海山麓自然体験楽校」の充実を図りながら、魅力ある楽しい交流の場にしたいと考えております。今後ともご理解とご指導をよろしくお願いいたします。

平成26年2月17日 (寄稿)

## 春3月

山麓スキー場ホワイトカーニバル 9日(日)

結いの灯り 11日(火)

地域づくり協議会の平成25年度提案事業は、残す所「ホワイトカーニバル」と「結いの灯り」の2事業となった。「カーニバル」実行委員長で八海山麓スキー場指定管理者(株)アクティ会長井口優さん(68)から一スキー場の現況について寄稿いただいた。また「一灯り」を主唱する女性部々会長山崎輝代さん(59)がその趣旨を話した。



猟友会によるイノシシの丸焼き  
ホワイトカーニバル



ホワイト  
カーニバル  
実行委員長  
井口優さん

地域・市からご協力頂き

四季折々のイベント好評

市ご当局から指定管理者として、市営八海山麓スキー場、サイクリングターミナルの運営を、受託させていただいてから5シーズンになりました。今シーズンも、スキー場オープンから気象条件にも恵まれ、各種大会や地域のファミリーを始め、県内外の大勢の方からご来場をいただいております。特に昨シーズンから東京大田区の皆さんと、地域の子供たちとの楽しい交流会も行われています。

§

当初、この施設の受託について、市ご当局始め地域の関係者と、多種多面にわたって協議検討した結果、市営スキー場、サイクリングターミナルの利点を生かした「八海山麓自然体験楽校」としてスタートする事になりました。営業開始と同時に東地区商工会に入会し、東地区地域づくり協議会および地域の皆さんからご理解とご協力をいただきました。安全第一を目標に、健全経営に努力してきました。特に、市ご当局及び八海山麓水無溪谷研究会のご指導により、国、県の制度事業にも積極的に取り込むことができ、業績も上がり少額ですが黒字経営となっております。

具体的な楽校の実施にあたっては、年間カレンダーにより地域のみなさん始め、国際大学、北里学院の学生さんからご協力してもらい、楽しい自然体験楽校を実施しています。春の田植え交流会、里山まつりに始まり、夏のサイクリング、地域のバーベキュー大会、秋の稲刈り交流、ウォーキング大会、冬のスキー、ホワイトカーニバルなど四季折々のイベントは大変好評です。また、地域の有志の会グリーンクラブでは「マルシェ36」を開設し、春から秋までターミナル広場にお

酒を提供します。どうぞ来て下さい)  
(東開発センターでは同時刻、婦人部会が甘  
東地内各所に灯りをともしましょう  
3月11日(火)午後7:00頃から  
結いの灯り



結いの灯り=写真提供 (公財) 山の暮らし再生機構

## 失われた「命」を思って

婦人部々会長 山崎輝代さん(59)

大震災から3年経とうとしています。私たちは失われた命を思い、3月11日東地区に結いの灯りを提唱して来ました。お蔭様で年々灯りが増えています。

今年も備え、祈って震災を風化させないよう、灯りをともしましょう。集落、近所、職場など声を掛け合ってください。ペットボトルを細工して行燈(あんどん)のようになると光が屈折し幻想的になります。